

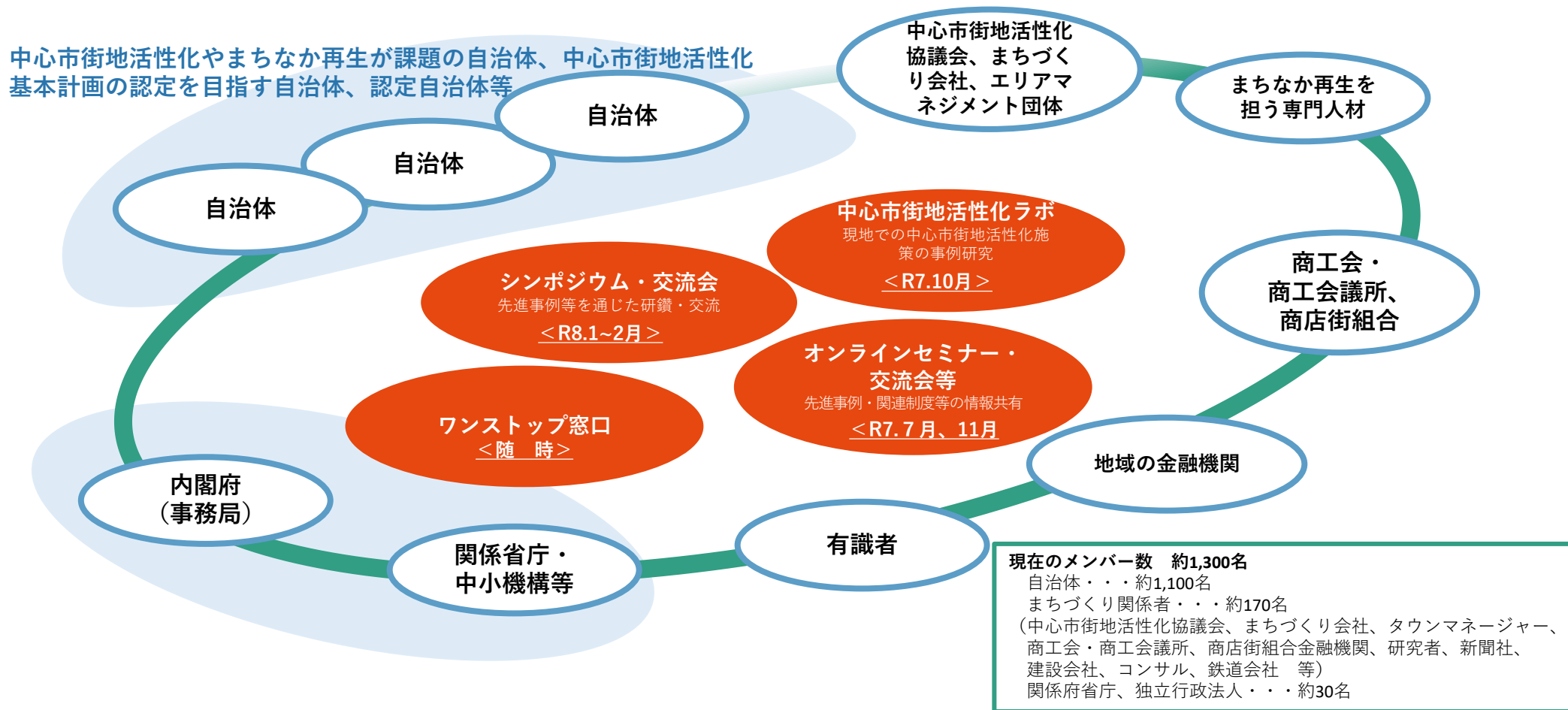
中心市街地活性化プラットフォームの 取組状況

令和 7 年10月
内閣府地方創生推進事務局

中心市街地活性化プラットフォームについて

- ・中心市街地活性化について、市町村の様々な声やニーズを発掘しきれていない。市町村の主体的な取組情報を発信する機会に乏しく、自治体では他地域で実践されている事業や取組の内容を参考にできていないと考えられることから、自治体間の交流・連携の環境が整備されていない状態。
- ・中心市街地活性化を多角的、重層的に推進するためには、各地域のステークホルダーが自ら各種の知見やノウハウ等の情報を発信・共有し、互いに地元還元する仕組みが必要。

→各地域のステークホルダー間の**交流・連携、情報の発信・共有**の場「**中心市街地活性化プラットフォーム**」



中心市街地の活性化への機運醸成と実践事例の横展開を強力に推進
ステークホルダーのネットワーク形成、相互の研鑽・交流促進

中心市街地活性化プラットフォームの取組実績

【令和6年度事業】

- 中心市街地活性化プラットフォーム キックオフシンポジウム
「まちなか再生の担い手とその可能性」
開催日：12月2日（月） 対面参加：70人、オンライン参加（最大接続数）：167人
- 中心市街地活性化ラボin鳥取
「リノベーションによるまちなか再生を考える」
開催日：3月10日（月）、11日（火） 研究生：5人、聴講生4人

【令和7年度事業】

- 中心市街地活性化プラットフォーム オンラインセミナー
「イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して」
開催日：7月31日（木） オンライン参加者（最大接続数）：166人
- 中心市街地活性化ラボin長岡〈予定〉
「イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して」
開催日：10月2日（木）、3日（金）

【プラットフォームメンバーへの情報提供】

- 中心市街地活性化に活用できる支援制度募集のご案内
(①まちなか再生事業（ふるさと財団）、②まちづくり人材育成講座「マチスタート」（中小企業庁）、
③地域活性化伝道師（内閣府地方創生推進事務局）、④地方創生コンシェルジュ（内閣府地方創生推進室）)
- 「地域にかがやくわがまち商店街表彰2026」の募集予告及び
「地域にかがやくわがまち商店街表彰2024」受賞事例の公表について（中小企業庁）
- 地域再生甲子園2025の開催について（主催：地域再生甲子園実行委員会 後援：内閣府、国土交通省）
- イノベーション創出環境を目指す中心市街地活性化の取組（新潟県長岡市）



中心市街地活性化プラットフォーム キックオフシンポジウム まちなか再生の担い手とその可能性

中心市街地活性化は持続可能な地域を作る要であり、「地方創生」の重要な課題です！
この取組みに必要となる「人材」のあり方やまちづくりの「ビジョン」について議論します！

中心市街地活性化の
プロが集結！

現場と行政目線からの
リアルを議論！

オンライン参加も可能！
(YouTube Live同時配信)

2024年12月2日月

参加費
無料

シンポジウム 13:00-17:00

ネットワークが広がる！
登壇者とも話せる交流会開催！

交流会 17:10-18:10

開催場所

ビジョンセンター品川 307会議室
品川駅高輪口より徒歩3分

対象

地方創生・まちづくり事業関係者、地方自治体
関係者、地方創生等に関心のある研究者、学生等

申込方法

定員100名※先着順
右記二次元コードより
事前申込制



主なプログラム

開会・挨拶

羽白 淳 内閣府地方創生推進室次長

第一部
13:10~14:10

基調講演

「中心市街地活性化の必要性和その手法
-確かな地方創生に向けて-」



足立 基浩 氏

和歌山大学副学長/中心市街地活性化評価・推進委員会 委員長

新聞記者を経て、2001年イギリス・ケンブリッジ大学で博士号を取得。世界20カ国、日本600箇所を調査する
「まちづくり経済学者」。日本とイギリスのシャッター通り再生論、都市活性化論などを専門分野とし、
商店街活性化のため、自らが接客を務めるオープンカフェWithを学生と共に経営。2012年不動産協会賞を受賞。

第二部
14:20~17:00

パネルディスカッション

「まちなか再生の担い手とその可能性」

中心市街地活性化に取り組んでいる事例に精通した実践者や有識者からご発表いただき、まちなか再生の担い手
とその可能性について、モデレーターを務める足立基浩氏とともにご議論いただきます。

パネリスト

國廣 純子 氏

武蔵野美術大学建築学科教授/
タウンマネージャー

齋藤 浩文 氏

株式会社まるにわ代表取締役/
鳥取銀行/鳥取市中心市街地活性化
協議会プロジェクトマネージャー

松本 茂弘 氏

川西市副市長/関西学院大学
人間福祉学部非常勤講師

九鬼 麻衣 氏

川西市中心市街地活性化協議会
タウンマネージャー

第三部
17:10~18:10

交流会



主催

内閣府 地方創生推進事務局

略歴・会場図・申込方法等詳細は裏面へ

パネリスト略歴

國廣 純子 氏

武蔵野美術大学建築学科教授/
タウンマネージャー

日本銀行勤務を経て、北京にて設計
チーム編成やプロジェクト統括を担当。
帰国後、青梅市・あきる野市などで
タウンマネージャーを務める。都市計画、
まちづくり、市街地再生などを専門分
野とし、内閣府中心市街地活性化評
価・推進委員会委員も担当。



松本 茂弘 氏

川西市副市長/関西学院大学
人間福祉学部非常勤講師

2015年4月川西市役所総合政策部
長、2020年4月より兵庫県川西市副
市長、川西市開発株式会社代表取締
役社長。一般財団法人川西市まち
づくり公社理事長。関西学院大学
人間福祉学部非常勤講師(財政社会学、
財政と社会保障、自治体経営論)。



齋藤 浩文 氏

株式会社まるにわ代表取締役/
鳥取銀行/鳥取市中心市街地活性化
協議会プロジェクトマネージャー

鳥取銀行勤務。リノベーションに関心
のある仲間とともに、まちづくり会社
「まるにわ」を設立。「まちづくりワ
ークショッププログラム」を通じて、リ
ノベーションまちづくりの手法と関係
人口創出を融合させた、新たな中心
市街地活性化に資する取組を展開中。



九鬼 麻衣 氏

川西市中心市街地活性化協議会
タウンマネージャー

川西市の隣接自治体である播磨川町
においてマルシェを主催、タウン
マネージャーとして川西市中心市街
地活性化協議会事業委託を受け、女
性によるコミュニティビジネスを含む
創業・創業支援、公共空間の利活用な
どを展開中。



お申込方法



<https://www.jmar-llg.jp/symp-machinaka/>

上記二次元コードよりお申し込みください。
ご入力いただいたメールアドレスに
当日の案内等をお送りいたします。

お申込締切につきまして

会場での対面参加は定員100名に達し次第、
締め切らせていただきます。
定員数に達した後のお申込につきましては、
オンライン参加の受付となります。

会場へのアクセス



ビジョンセンター品川

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-8
京急第7ビル2F,3F【受付:3F】
JR各線・京急本線「品川駅(高輪口)」徒歩3分

お問い合わせ先

☎ 03-3578-7529(平日10:00~17:00)

✉ syaken_06@jmar.co.jp

株式会社日本能率協会総合研究所

【担当】赤井/田中/前原

※電話口不在の場合、大変お手数ですが上記メールアドレス
までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

●ご提供いただいた個人情報は、内閣府及び本事業の委託者(株日本能率協会
総合研究所)において、定められた個人情報保護に係る方針に基づき、適正な
管理を行うとともに、個人情報の保護に努めます。●個人情報は、本セミナー
に関するご連絡、並びに中心市街地活性化に関する情報提供のために使用さ
せていただきます。●法令に基づく場合をのぞき、個人情報を第三者に開示、提
供することはありません。
視聴にあたってのご注意
●視聴いただく環境によって、ご覧いただけない場合や映像、音声がかかる場
合があります。●視聴にかかるデータ通信費等は視聴者の方の負担となります。
●本セミナーの録画・録音はお断りいたします。

◆開催趣旨

「中心市街地活性化ラボ」は、中心市街地活性化施策の深化や各地域のまちづくりプレイヤーのネットワーク形成、相互の研鑽・交流の促進を目的に、現地での中心市街地活性化事例研究を行うもの。

R6年度は第1回目として、「リノベーションによるまちなか再生」をテーマに、リノベーションまちづくりを中活計画の柱に据える鳥取市で開催。

5名の研究生が鳥取市における課題を踏まえ、自身の取り組み事例を発表した。

◆開会挨拶(1日目)



◆現地踏査(1日目)

鳥取市中心市街地内の各施設を現地踏査



◆研究生による事例発表&ディスカッション(2日目)



■中心市街地活性化ラボin長岡＜開催日：令和7年10月2～3日開催予定＞

「起業・創業によるチャレンジの場とイノベーションの創出環境の形成」をテーマとし、『日本初「イノベーション地区」のさらなる展開』を掲げ、第4期中心市街地活性化基本計画の認定を受けた長岡市で東大CREI(※)と連携し、実施する予定。

※東大CREI・・・東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センター。令和4年3月から内閣府、長岡市と3者で「新しい地域活性化モデルの構築に向けた研究連携協定」を締結し、イノベーション創発の研究を行っている。

地方創生2.0

内閣府地方創生推進事務局 × 東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センター

中心市街地活性化プラットフォーム・オンラインセミナー

イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して

日本初の「イノベーション地区」長岡

参加費 無料

2025年7月31日 木 13:30-15:00

開催方法 オンライン(YouTube Live)

対象 地方創生・まちづくり事業関係者、地方自治体関係者、地方創生等に関心のある研究者、学生等

申込方法 <https://jmar-llg.jp/machisem2507/>
上記URL・二次元コードよりお申し込みください。

プログラム

- 開会・挨拶(13:30~)**
羽白 淳
内閣府地方創生推進室次長
- 発表(13:35~)**
・長谷川 大輔 氏
『中心市街地におけるイノベーション創発の価値』
・松本 歩 氏
『長岡市における「イノベーション地区」の展開に向けた取り組み』
- クロストーク(14:25~)**
長谷川 大輔 氏×長岡市関係者
・質疑
- 閉会**

発表者

長谷川 大輔 氏
東京大学大学院工学系研究科
不動産イノベーション研究センター
特任講師

松本 歩 氏
長岡市中心市街地整備室
まちなか政策担当課長

2019年3月筑波大学システム情報工学研究科リスク工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。2019年3月より(株)ディー・エス・エー、2020年7月より東京大学生産技術研究所を経て、2022年4月より東京大学不動産イノベーション研究センターに着任。都市計画、地域公共交通計画、空間情報科学に関する研究に従事。国土交通省「都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会」委員

「長岡市中心市街地活性化基本計画」(令和7年3月14日認定)に基づき、「みんなが創るまちなかの価値〜誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまちなか〜」をテーマに、長岡版イノベーションの拠点であるミライエ長岡の「NaDeC BASE」において「NaDeC推進事業」等を展開。若手起業家をはじめのチャレンジする人を支援するとともに、起業の促進や中心市街地の場の力を活用したイノベーション地区の展開等を推進中。

中心市街地活性化プラットフォーム・オンラインセミナー、長岡市の取組概要

中心市街地活性化プラットフォーム・オンラインセミナー

- 内閣府地方創生推進事務局は、各地域のステークホルダー間の交流・連携、情報の発信・共有の場として「中心市街地活性化プラットフォーム」を昨年度立ち上げました。
- 「内閣府中心市街地活性化評価・推進委員会」において取りまとめた提言の重点的な分野の一つである「起業・創業によるチャレンジの場とイノベーションの創出環境の形成」をテーマに、東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センター(CREI)と連携してウェビナーを共催します。
- イノベーションとまちづくりを研究する東大CREI長谷川先生からイノベーションとまちなかの関係について、『日本初の「イノベーション地区」』を掲げ、中心市街地活性化に取り組む新潟県長岡市松本課長からその取組について、発表頂き、その後、長谷川先生と長岡市関係者でクロストークも行います。



長岡市中心市街地



ミライエ長岡



ものづくりラボ@NaDeC BASE

長岡市の取組概要

- 新潟県長岡市では市内4大学1高専と連携し、中心市街地にヒト・モノ・情報の集積を図り、「イノベーション×中心市街地」による新たな産業創出の具体化、多様な人の活動の輪の拡大に取り組んでいます。
- 長岡市は、地方創生2.0における地方イノベーション創生構想でも、「新結合」が期待される地域とされています。また、内閣府が推進するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に基づいて、長岡市を含む新潟県・長野県が連携する「Regional Nexus Hub」が、第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市に選定されています。

お申込方法

<https://jmar-llg.jp/machisem2507/>

上記URLもしくは下記二次元コードよりお申し込みください。
ご入力いただいたメールアドレスに当日の案内等をお送りいたします。



申込締切：2025年7月30日(水)

お問合せ先

☎ 03-3578-7529 (平日10:00~17:00)

✉ syaken_06@jmar.co.jp

株式会社日本能率協会総合研究所

【担当】赤井/竹田/飯田/田中

※電話口不在の場合、大変お手数ですが上記メールアドレスまでお問い合わせくださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

- ご提供いただいた個人情報は、内閣府及び本事業の委託者(㈲日本能率協会総合研究所)において、定められた個人情報保護に資する方針に基づき、適正な管理を行うとともに、個人情報の保護に努めます。●個人情報は、本セミナーに関するご連絡、並びに中心市街地活性化に関する情報提供のために使用させていただきます。●法令に基づく場合をのぞき、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
- 視聴にあたってのご注意
- 視聴いただく環境によって、ご覧いただけない場合や映像、音声がかかる場合があります。●視聴にかかるデータ通信費等は視聴者の方の負担となります。
- 本セミナーの録画・録音はお断りいたします。

中心市街地活性化ラボ in 長岡

イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して



※写真左から…米百俵プレイスミライエ長岡、ミライエ長岡オープニングイベント、互尊文庫、ものづくりラボ

実施テーマ

まちなかのイノベーション創出環境の形成

開催地

長岡市中心市街地

募集人数

5名程度

※開催地往復交通費・宿泊費支給(内閣府規定準拠)
※参加者は応募書類等により選考いたします

対象者

タウンマネージャー、商工会議所職員、商店街組合員、まちづくり会社、行政職員等のうち、以下の条件に当てはまる方

- 実施テーマに関する取組を実施、又は課題を有しており、事例発表できること
- 全プログラムに参加できること
- 開催地や他の研究生の事例等のプログラムの成果を自身の取組へ還元すること

※聴講生(事例発表不要、交通費・宿泊費自己負担)も若干名募集

応募方法

右記二次元コードより応募フォームへアクセスし、必要事項を記入・提出ください。

締切:2025年8月31日(日)まで

<https://www.jmar-llg.jp/machisem2507/labo.html>



2025年10月2日(木)~3日(金)

ラボ長



長谷川 大輔 氏

東京大学大学院工学系研究科
不動産イノベーション研究センター 特任講師

主なプログラム

1 日 目	13:30~	開会・挨拶
	15:30	「まちなかのイノベーション創出環境の形成」 ラボ長と長岡市より、イノベーションに係る取組の発表
	15:40~ 18:00	現地踏査 イノベーションの創出に向けた取組に係る現地を担当者による解説を交えながら見学します。
現地踏査終了後 交流会(参加費形式) ☐ 現地泊 ☐		
2 日 目	9:30~	開会・挨拶
	10:00	「長岡市の取り組み」 渡邊 誠介氏 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 教授
	10:00~ 11:25	研究生による事例発表 各研究生より、自身のイノベーション創出に係る取組を発表
	11:30~ 13:00	ディスカッション 初日のプログラムを通じて感じた、開催地事例の先進性や中心市街地活性化施策のより良い活用の方策等について議論します。

※プログラムについては今後変更の可能性があります

中心市街地活性化ラボ・長岡市の取組

《中心市街地活性化ラボ》

- 「中心市街地活性化ラボ」は、中心市街地活性化施策の深化や各地域のステークホルダーのネットワーク形成、相互の研鑽・交流の促進を目的に、現地での中心市街地活性化事例研究を行うものです。中心市街地活性化の取組成果が出ている自治体を開催地とし、ラボ長及び公募した研究生が実施します。
- 今回は、令和5年度、内閣府「中心市街地活性化評価・推進委員会」が取りまとめた提言における「新たな時代のまちなか再生に必要な重点的な分野」の一つである「イノベーションの創出環境の形成」をテーマに長岡市中心市街地で開催します。

《長岡市の取組》

- 新潟県長岡市では市内4大学1高専と連携し、中心市街地にヒト・モノ・情報の集積を図り、「イノベーション×中心市街地」による新たな産業創出の具体化、多様な人の活動の輪の拡大に取り組んでいます。
- 長岡市は、地方創生2.0における地方イノベーション創生構想でも、「新結合」が期待される地域とされています。また、内閣府が推進するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に基づいて、長岡市を含む新潟県・長野県が連携する「Regional Nexus Hub」が、第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市に選定されています。



新規事業の立ち上げ方を学ぶ事業化プログラム「リーンランチャードプログラム」



イノベーションサロン@NadeC BASE



シティホールプラザ「アオーレ長岡」

ラボ長・発表者略歴



ラボ長:長谷川 大輔 氏

東京大学大学院工学系研究科
不動産イノベーション研究センター 特任講師



渡邊 誠介 氏

長岡造形大学
建築・環境デザイン学科 教授

2019年3月筑波大学システム情報工学研究科リスク工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。2019年3月より(株)ディー・エヌ・エー、2020年7月より東京大学生産技術研究所を経て、2022年4月より東京大学不動産イノベーション研究センターに着任。都市計画、地域公共交通計画、空間情報科学に関する研究に従事。国土交通省「都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会」委員。

研究分野は、地方都市の都市計画・まちづくり、イノベーションデザイン。東京大学大学院を修了、工学博士。長岡造形大学地域協創センター長、大学院研究科長、学部長を歴任、2013年より現職。また、2015~19年NPO法人醸造の町掘田屋町おこしの会会長、2020~23年NaDeC運営委員長、2022~23年Matching Hub Nagaoka実行委員長、2023~24年Hakko Meeting座長を務める。

応募時フォーム入力事項・応募書類等

◆応募フォームの主な入力事項

氏名、年齢、職業、活動エリア、志望理由(300字以内)等

◆応募書類

取組事例概要(事例概要A4・2枚)、その他参考資料(任意)

◆研究報告

プログラム後にレポート(A4・4枚程度)を提出(自身の取組に還元できそうな開催地や他の研究生の事例等プログラムの成果について)

お問い合わせ先

☎ 03-3578-7529 (平日10:00~17:00)

✉ syaken_06@jmar.co.jp

株式会社日本能率協会総合研究所

【担当】赤井/竹田/田中/前原

※電話口不在の場合、大変お手数ですが上記メールアドレスまでお問い合わせくださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

●ご提供いただいた個人情報は、内閣府及び本事業の受託者(㈱日本能率協会総合研究所)において、定められた個人情報保護に係る方針に基づき、適正な管理を行うとともに、個人情報の保護に努めます。●個人情報は、本セミナーに関するご連絡、並びに中心市街地活性化に関する情報提供のために使用させていただきます。●法令に基づく場合をのぞき、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加にあたってのご注意

●現地までの交通手段・宿泊先は各自で確保の上、研究生は後日実費(内閣府規定準拠)を支給します。支給にあたっては各種証憑(領収書・搭乗券等)をご提出ください。●参加に係る、日当・謝金はお支払いしません。●プログラムの都合上、一部行程のみの参加、途中退出等はお断りします。

地方創生2.0

内閣府地方創生推進事務局



東京大学連携研究機構不動産
イノベーション研究センター